

■After 建築名称 下段: 英語名	カステル・ベッキオ美術館 Castelvechio Museum		
建築用途	大分類 展示施設	小分類 美術館	
改修設計者	Carlo Scarpa	URL	After エントランスのある中庭側
所在地	イタリア、ヴェローナ	Google Map	
改修年	1958,1961-1964,1966-1968,1975		撮影者提供者 柳沢伸也
建築規模	0		概要 after 建築家カルロ・スカルパの設計により、歴史的文化財である中世の城を美術館に改修。作品展示のため既存の床や壁を切断し、コンクリートむき出しに仕上げる等、新旧を対比する手
掲載書誌	『Carlo Scarpa & castelvechio』Richard Murphy,arsenale editrice、『カルロ・スカルパ』a+u,1985年10月臨時増刊号		
賞・選定			
■Before 建築名称	カステル・ベッキオ		概要 before スカラ家カングランデ2世によって1356年に建てられた城。大きな擁壁に囲まれた堅固な要塞で、北側は川、他は堀で守られていた。橋によって2つに分けられていて、現在、東側は
建築用途	大分類 その他	小分類 軍事施設	
■写真 Before	After 連続した展示室		After 床をカットし中世の遺構を見せる
写真2 Before写真	 写真		
撮影者提供者	撮影者提供者 柳沢伸也	撮影者提供者 柳沢伸也	
■リノベーション内容	キーワード 大規模改修、外観 改変、対比、遺構	内容 既存のカステル・ベッキオは、1356年に建てられたヴェローナを代表する歴史的重要な建物である。その歴史的建造物に対し、スカルパは館長らと相談しつつ、斬新な保存改修デザインを行った。コンクリートむき出しや、タタキ仕上げ、鉄や木などを組み合わせた改修方法は前例がなく、現代的な手法を導入し歴史的な建造物との対比を表現した。作品重視の改修を断行し、カングランデ1世の騎馬像などは、設置されていた当初の見え方を再現するために、城壁を切断して展示している。こうした大胆な改修手法については、発表後すぐにヨーロッパ全土で議論になり、歴史的建造物の保存改修手法に関するヴェネチア憲章の制定へと発展した。	
■備考	0		
■作成者氏名/所属	柳沢伸也/JIA再生部会		管理者記載 SY-008

